横須賀市立公郷中学校　　国語科　第２学年　2020年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
○国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を高める。 ○国語の授業を通して、確かな学力と豊かな感性を育てる。	○社会生活に関わることなどについて、適切に書いたり話したりすることで、考えを深めようとする態度を育てる。 ○国語の授業を通して、考えを広げようとする態度と確かな学力、ゆたかな感性を育てる。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	評価場面や資料 観点	授業の観察	提出物	プリントノート	単元テスト	定期テスト
	「メッセージをどう聞くか」（読む）	○キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉えようとしている。			○「メッセージ」というキーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉えている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関読言	○○○				○○
	「短歌を楽しむ」（読む）	○情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わおうとしている。 ○短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめようとしている。			○情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わっている。 ○短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめている。	○短歌という形式の特徴を理解している。	関読言	○○○				○○
	「短歌のリズムで表現しよう」（書く）	○自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作ろうとしている。		○自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作っている。			関書	○○	○			
	「敬語」（言葉）	○敬語の種類や使い方について理解しようとしている。				○敬尊語・謙譲語・丁寧語という敬語の種類やそれらの使い方について理解している。	関言	○○				○
	「字のない葉書」「卒業ホームラン」（読む）	○登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わおうとしている。 ○登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持とうとしている。			○登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わっている。 ○登場人物のものの見方や考え方について自分の考えを持っている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関読言	○○○				○○
	「問題意識を持って聞こう」（話す・聞く）	○表現の仕方や根拠の確かさに注意して聞き、自分の考えを広げ用としている。	○事実と主観を聞き分け、相手の考えの根拠を吟味するとともに、聞き取ったことを踏まえて自分の考えを述べている。				関話	○○	○			○
	「鰹節（読む）」	○文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取ろうとしている。 ○筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持とうとしている。			○文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読み取っている。 ○筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持っている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関読言	○○○				○○

	「哲学的思考のすすめ」(読む)	○論の進め方を捉え、文章の内容を読み取ろうとしている。 ○筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持とうとしている。			○論の進め方を捉え、文章の内容を読み取っている。 ○筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持っている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「自立語の各品詞の特徴を知る」（文法）	○自立語の各品詞の特徴を知ろうとしている。				○自立語の各品詞の特徴を理解している。	関 言	○ ○				○
	「反対意見を想定して書こう」（書く）	○自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書こうとしている。 ○意見が効果的に伝わるように、根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んだりしようとしている。		○自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書いている。 ○意見が効果的に伝わるように根拠を具体的に記述したり、他の立場への反論を盛り込んでいる。			関 書	○ ○	○			
	「説得力のある提案をしよう」（話す・聞く）	○聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てようとしている。 ○資料を活用して、分かりやすく印象的に話そうとしている。	○聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てている。 ○資料を活用して、分かりやすく印象的に話している。				関 話	○ ○	○			
	「枕草子・徒然草」（古典）	○古文のリズムに慣れ、音読しようとしている。 ○筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉えようとしている。			○古文のリズムに慣れ、音読している。 ○筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉えている。	○歴史的仮名遣いや古語の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「漢詩」(古典)	○表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わおうとしている。 ○情景を描いた表現の効果について考えようとしている。			○表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わっている。 ○情景を描いた表現の効果について考えている。	○漢詩の形式や対句などの特徴的な表現を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「走れメロス」(読む)	○会話や描写に注意して登場人物の人物像を読み取ろうとしている。 ○描写を活かした朗読をしている。 ○人物像の変化を読み味わおうとしている。		○感想文を書き、自分の考えを深める。	○描写や表現から登場人物の人物像を理解する。 ○登場人物の行動や考え方について自分なりの考えを持つ。 ○人物像の変化を理解する。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 書 読 言	○ ○ ○ ○	○			○ ○
	「『正しい』言葉は信じられるか」(読む)	○事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考えようとしている。			○事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考えている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○

【学習のポイント】
＊忘れ物をせず、提出物は期限内に必ず出す。
＊授業準備は早めに行い、授業中は積極的に発言をして、意見の交流を通して授業を活性化させる。
＊漢字練習は毎日少しずつ行い、新出漢字は積極的に日常生活でも使用していく。
＊課題テストや定期テストの範囲は別に発表する

横須賀市立公郷中学校　社会科　第2学年　2020 年度　年間指導計画

担 当 ：

学 び の 目 標	学 年 と し て 大 切 に し て 欲 し い 姿
○社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、公民としての基礎的教養を培い、平和で民主的な社会の形成者としての資質の基礎を養う。 ○社会科の授業を通して、視野を広げ、世の中の出来事と自分を結びつけ、他者を大切にする力をつける。	○基礎・基本を活かし、学んだ内容や学び方を活用し、発展させる。 ○自ら進んで学ぶ姿勢を育て、自分に合った学び方を身につけるとともに自ら課題をもって追求する喜びを感じる。

題 材 名 学 習 の ね ら い	各 観 点 の 学 習 目 標				評価場面や資料					
	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	観点	授業の観察	提出物	ノート	課題テスト	定期テスト
＜地理的分野＞ **「日本の諸地域」** 北海道・東北・北陸・関東・中部・近畿・四国・中国・九州・沖縄地方の特徴を様々な資料を読み取り、理解する。	日本の諸地域の特徴について自ら積極的に調べ、学ぼうとしている。	日本の諸地域の特徴から地域的な課題をとらえ、自分の考えを表現する。	日本の諸地域についての様々な資料から必要な資料を適切に選択肢、読み取ったり、まとめたりする。	日本の諸地域の特色をとらえし、地域による違いを理解する。	関思技知	◎ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「身近な地域の調査」 身近な地域を調査し、地域に対する理解と関心を深め、地域社会に貢献する態度を身につける。 地形図の読み方、縮尺の表し方を理解する。	身近な地域を調査し、地域の特色と課題を意欲的に追求しようとしている。	身近な地域の課題について考え、その過程や結果を適切にまとめる。	身近な地域を調査するための方法を身につける。 地形図や縮尺を的確に読み取る。	身近な地域の特色を理解する。 地形図の読み方、縮尺の表し方を理解する。	関思技知	◎ ◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「江戸幕府の成立と鎖国」 江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府による全国支配の確立を理解する。	戸幕府の成立と幕府による支配ついて幕府・大名・農民のそれ立場から意欲的に考えようとしてる。	戸幕府の成立と幕府による支配にいて幕府・大名・農民のそれの立から考え、その過程や結果を適切表現している。	名統制・鎖国政策と鎖国下の様子身分制度の確立・農村の様子に関る資料を読み取り、時代背景を想する。	戸幕府の大名統制・鎖国政策・身分制の確立及び農村の様子を理解する。	関思技知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「産業の発達と幕府政治」 産業の発達により交通や教育が普及し、町人による生活文化が形成されたことを理解する。 貨幣経済の広まりによる社会の変化、百姓一揆、新しい思想・学問の動きに気づく。	経済の発達と町人による文化、政治の行き詰まりと繰り返される改革について意欲的に学ぼうとしている。	貨幣経済による社会の変化を的確に捉え、その影響を考え、発表する。	経済の発達による都市の繁栄と町人文化についての資料を読み取り、時代背景を想像する。	繰り返される政治改革の内容や町人文化の特徴を理解する。	関思技知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「欧米社会の進出と日本の開国」 欧米諸国が、市民革命や産業革命により、近代社会を成	市民革命や産業革命を成し遂げたヨ	市民革命・産業革命がおこった背景	市民革命や産業革命、幕末の日本	欧米諸国が、市民革命や産業革命によ	関	◎	○	○	○	

立させ、新たな市場や原料を求めてアジアに進出したことを理解する。 欧米諸国の進出による日本への影響と江戸幕府の滅亡にいたるまでの過程を理解する。	ーロッパの人々・進出先のアジアの人々の気持ちになって考える。 幕末の日本を様々な立場から意欲的に捉えようとしている、。	と影響について様々な角度から考える。 日本の開国による影響を考える。	の様子を表した資料や、欧米諸国によるアジア進出への地図を適切に読み取る。	り、近代社会を成立させ、新たな市場や原料を求めてアジアに進出したことや日本への影響、江戸幕府滅亡の過程を理解する。	思技知		○	○	○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「明治維新」 新政府による政治の改革、富国強兵・殖産興業・文明開化についてとらえ、人々の生活が大きく変化したことを捉える。 自由民権運動や大日本帝国憲法の制定について捉え、立憲制の国家が成立したことを理解する。	明治維新による人々の生活の変化、議会政治が始まる過程を当時の人々の立場に立って意欲的に考えようとしている。	新政府による政治の改革のねらいや明治維新による人々の生活の変化について考える。	明治政府による諸改革の資料や自由民権運動の様子を映像や資料から読み取る。	明治維新によって近代国家の基礎が整えられ人々の生活が大きく変化したこと、アジアで最初の立憲国家となったことを理解する。	関思技知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「日清・日露戦争と近代産業」 日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の植民地化などから理解する。 近代文化が形成されたことを、学問や科学の分野で国際的な業績が生まれたことから理解する。	19世紀後半の国際関係に興味を持ち、関連付けながら日清・日露戦争の起こった理由を意欲的に追究している。	日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子、戦争の影響について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日清戦争から韓国の植民地化までの日本の動きを年表などにまとめている。 国民生活の変化や学問・教育・科学・芸術の発展などを資料から調べ、読み取ったりまとめたりしている。	日本と大陸との関係のあらましを、日清・日露戦争、条約改正を通して理解し、その知識を身に付けている。 近代文化の形成を、学問・教育・科学・芸術などの発展から理解し、その知識を身に付けている。	関思技知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎

【学習のポイント】

忘れ物をせず、提出物は期限内に出しましょう。きちんと手をあげてハキハキと発言し、他の人の意見を大切にしましょう。体・心・頭を動かし、全身で受け止め、学習していきましょう。

横須賀市立公郷中学校　数学科　第2学年　2020年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
(1)文字式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解しそれを用いる能力を養う。 (2)基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を表現する能力を養う。 (3)具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を養う。具体的な事象についての観察や実験を通して、確率の考え方を養う。	①1学年の学習内容を基礎として、楽しんで数学的活動に参加する。 ②活動に参加する中で、必要な考え方や計算方法、知識を自ら習得しようとする気持ちを持つ。 ③自分の考え方と仲間の考え方の違いを認め、様々な考え方を受け入れる。また、班活動を通して積極的に意見の交流をし、考え方を取り入れていく。 （校訓:受け容れよう・話し合おう・傷つけない・自分作り）

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量、図形などについての知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	班活動・表現活動	ワークシートなど	小テスト	定期テスト
14	1章 式の計算 ①文字式の仕組み②多項式の加法・減法 ③単項式の乗法・除法④式の値 ⑤文字式の利用 ⑥等式の変形	いろいろな文字式の計算に関心を持ち、進んで計算方法を調べ、能率良く計算しようとしている。具体的な場面で、目的を持って活用しようとしている。	いろいろな文字式の計算方法を、計算法則や数の計算と関連付けて考えることができる。文字式を利用すると性質を一般的に説明できることに気づき、性質を考察することができる。	いろいろな文字式の計算が、能率的かつ正確にできる。数量の関係を文字式を使って一般的に表現し、形式的な処理を的確に行うことにより数や図形の性質を説明することができる。	いろいろな文字式の計算方法やその原理を数の計算と関連付けて理解している。等式を目的に合うように変形することの意味や良さを理解している。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
15	2章 連立方程式 ①連立方程式とその解 ②連立方程式の解き方 ③連立方程式の利用	具体的な場面で問題解決するための方法を考え連立方程式を使う方法と比較しようとしている。良さに気づき利用しようとしている。	連立2元1次方程式の解はただ1組に決まることを表などを用いて考察することができる。数量の関係をとらえ、連立方程式を作ることができる。	式変形の仕方を工夫しながら能率的かつ、正確にいろいろな形の連立方程式を解くことができる。解く手順や解の適否を説明することができる。	加減法や代入法を等式の性質と関連付けて理解している。様々な問題に対して連立方程式を利用し解決する方法を理解している。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
18	3章 1次関数 ①1次関数②1次関数のグラフ ③直線の式の求め方④1次関数の利用 ⑤2元1次方程式のグラフ ⑥連立方程式の解とグラフ	1次関数の特徴や比例や反比例との関係を比較しながら、積極的に調べようとしている。連立方程式の解とグラフとの関係に関心を持ち、進んで調べようとしている。	1次関数の式や変化の割合などの特徴を、比例との関連など多面的に考えることができる。連立方程式の解がただ一つに決まることをグラフの高点と関連付けてとらえる事ができる。	1次関数で表される関係を見いだし、表や式で的確に表すことができる。日常の事象の問題を、方程式グラフを用いて解決することができる。	1次関数の意味や変化の割合の特徴などを比例や反比例との相違点を含めて確実に理解している。連立方程式の解の意味をグラフと関連付けて理解している。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
18	4章 図形の性質の調べ方 ①平行線と角②多角形の角 ③合同な図形④三角形の合同条件 ⑤図形の性質の確かめ方	平行線と角や多角形について関心を持ち、予想しながら見通しを持って調べ、確かめようとしている。証明の仕組みに関心を持ち、自分の言葉で説明しようとしている。	平行線と角や多角形の内角の和などを求めるために様々な方法を見いだすことができる。簡単な命題を、手順に従って証明することができる。	平行線と角や図形の性質から角の大きさを求めることができ、性質や求め方を的確に説明することができる。演繹的な推論の過程を、的確に表現する事ができる。	平行線と角の関係や多角形について小学校を含む既習事項と関連付けて理解している。証明の意義や仕組み・手順や根拠に使われる性質を確実に理解している。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
18	5章 三角形・四角形 ①二等辺三角形②直角三角形の合同 ③平行四辺形の性質 ④平行四辺形であるための条件 ⑤平行線と面積	三角形や四角形の性質に興味を持ち、その性質を調べ証明しようとしている。	それぞれの図形の性質と合同条件について考察し、図形の性質を的確に証明することができる。	それぞれの図形の性質を手順に従って正確に書き表すことができる。	それぞれの図形の定義と性質を明確に区別することができ、性質の証明方法を理解している。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
11	6章 確率 ①ことがらの起こりやすさ ②確率の求め方③いろいろな確率	日常の事象の起こりやすさの程度を1つの数で表すことに関心を持ち、積極的に実験を行い調べようとしている。	多数回の実験結果から得られた一定の数値がそのことがらの起こりやすさを表すことを見いだすことができる。	多数回の実験結果を表やグラフに表し、それを読み取って起こりやすさの程度を1つの数で的確に表すことができる。	確率の意味をいろいろな具体例と関連付けて理解している。樹形図や2次元表の効果的な利用の仕方を理解している。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
4	7章 データの比較 ①四分位範囲と箱ひげ図	複数のデータの分布について，四分位範囲や箱ひげ図を用いて，それらの傾向を比較して読みとり批判的に考察し判断するなど，数学的に考え表現することに関心をもち，意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとしている。	四分位範囲や箱ひげ図についての基礎的・基本的な知識や技能を活用して，データの傾向を比較して読みとり批判的に考察し判断するなど，数学的な見方や考え方を身に付けている。	データの四分位数や四分位範囲を求め，箱ひげ図に表すなどの技能を身に付けている。	四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解し，知識を身に付けている。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎

【学習のポイント】①毎時間の授業を大切にし、自ら考え、参加する姿勢を持つ。 ②クラスの仲間とともに協力して考える姿勢を持ち、他を受け容れ、自分の意見も伝える。
③学習したことを定着させるために、ワークなどを用いて問題演習を行い、良く復習する。

横須賀市立公郷中学校　　理　科　第2学年　2020年度　年間指導計画

担 当 ：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
① 自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。 ② 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	① 自然の事物・現象に興味を持ち、生活と結びつけよう。 ② 基礎的な原理・原則を理解し、授業に積極的に参加しよう。 ③ 家庭学習を充実させ、徹底的に復習しよう。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	定期テスト	課題テスト	レポート	提出物
37	単元1　化学変化と原子・分子 化学変化についての観察、実験を通じて、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、これらの事物を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。	物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。	物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事象・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けることができる。	観察や実験などを通して、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事象・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
42	単元2　動物の生活と生物の進化 生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解する。また、動物などについて観察、実験を通して、動物の体のつくりと働きを理解するとともに、動物の生活と種類についての認識を深めるとともに、生物の変遷について理解する。	生物と細胞、動物の体のつくりと働き、動物の仲間、生物の変遷と進化に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする。	生物と細胞、動物の体のつくりと働き、動物の仲間、生物の変遷と進化に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	生物と細胞、動物の体のつくりと働き、動物の仲間、生物の変遷と進化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けることができる。	観察や実験などを行い、生物と細胞、動物の仲間、生物の変遷と進化に関する事物・現象について基本的な概念、多様性や規則性を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
33	単元3 電流とその利用 電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。	電流と電圧との関係及び電流の働きに関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。	電流と電圧との関係及び電流の働きに関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	電流と電圧との関係及び電流の働きに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を見に付けている。	観察や実験などを通して、電流と電圧との関係及び電流の働きに関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
28	単元4　気象のしくみと天気の変化 身近な気象の観察、観測を通じて、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。	気象観測、天気の変化、日本の気象に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、自然環境の保全に寄与しようとする。	気象観測、天気の変化、日本の気象に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	気象観測、天気の変化、日本の気象に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けることができる。	観察や実験などを行い、気象観測や天気の変化、日本の気象に関する事物・現象について基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○

【学習のポイント】

※ テーマを意識して授業に前向きに臨もう。

※ 習得した知識は、プリントなどで定着させよう。

※ 提出物は期限までに完成させて提出しよう。

横須賀市立公郷中学校　音楽科　第2学年　2020年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿				評価場面や資料				
○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てると共に、音楽に対する感情を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。 (4) 豊かな心と主体的に行動できる力を育てる。				観点	授業観察	実技試験	定期試験	ワークシート
題　材　名 学 習 の ね ら い	各観点の学習目標								
	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力					
オリエンテーション リズムアンサンブルをしよう 様々なリズムを知り、表現を工夫してアンサンブルをする。	様々なリズムに関心をもち、表現を工夫して学習に主体的に取り組もうとしている。	音色・速度・強弱などの表現を工夫し、どのようにアンサンブルするかについて思いや意図をもっている。	テンポに合わせてリズムをとり、手拍子などで表現したいリズムアンサンブルをするための技能を身につけている。	様々なリズムがあることを知り、それらのリズムが合わさったり、変化、反復させることで生じる音楽の面白さや良さを味わっている	関 創 技 鑑	◎ ○ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎	◎ ○ ○ ◎
楽器の音色を聴き取りながら曲の形式を理解しよう 交響曲第5番ハ短調 ・オーケストラの響きを味わい、曲の形式を理解する。	音楽を形作っている要素や構造と曲想とのかかわり、音楽の特徴などに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形作っている要素を知覚しその特質や雰囲気を感受しながら、根拠をもって批評するなど、多様な音楽のよさを味わっている	関 創 技 鑑	○ ○ ○ ○		○ ◎	◎ ◎
アルトリコーダーに親しもう こげよマイケル　ふるさと ・様々な運指や奏法を身につけ、合わせて演奏する。	楽器の特徴に関心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	楽器の特徴をとらえた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	楽器の特徴をとらえた音楽表現をするために必要とする、様々な運指や奏法を身につけ、演奏している。		関 創 技	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎
曲想の変化を活かしてアカペラで歌ってみよう ふるさと ・曲について知り、その特徴を活かして表現する。	曲想の変化に関心をもち、それを生かして音楽表現を工夫して学習に主体的に取り組もうとしている。	曲想の変化を感じ取り、それを生かしながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか思いや意図をもっている。	曲想の変化を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、演奏している。		関 創 技	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎
詩と音楽の関わりを感じ取ろう 浜辺の歌 ・歌詞の内容を味わい、旋律との関りや構成を理解して表現する。	歌詞の内容や言葉の特性（抑揚、アクセントなど）に関心をもち、表現を工夫しながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞の内容や言葉の特性、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や言葉の特性、曲想を生かした音楽表現に必要な技能を身につけて歌っている。	歌詞の内容や言葉の特性、曲想の変化などを意識して、楽曲を聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎	◎ ◎
日本の伝統音楽に親しもう 雅楽越天楽	音楽を形作っている要素や構造、その背景となる文化、他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形作っている要素や構造、その背景となる文化、他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞学習に主体的に取り組もうとしている。	関 創 技 鑑	○ ○ ○ ○		○ ◎	◎ ◎
合唱しよう 卒業式に向けての取り組み	声部の役割や全体の響きに関心を持ち表現を工夫して、合わせて歌う学習に主体的に取り組んでいる。	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	声部の役割と全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。		関 創 技	◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ○

【学習のポイント】①忘れ物をしないように、授業の道具をきちんとそろえよう。　②授業をよく聞き、1時間1時間を大切にしよう。
③苦手な人もあきらめず、前向きに、積極的に、実技に取り組んでいこう。　④互いに教え合い、学びあいながら、学習を深めよう。

横須賀市立公郷中学校　　美術科　第2学年　2020年度　年間指導計画

学びの目標	○学年として大切にして欲しい姿
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。	(1)主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 (2)対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め，独創的・総合的な見方や考え方を培い，豊かに発想し構想する央力や自分の表現方法を創意工夫し，創造的に表現する能力を伸ばす。 (3)造形，美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め，心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち，よさや美しさなどを味わ**う鑑賞の能力を高める。**

題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評価場面や資料 観点	授業の観察	作品	ワークシート	振り返りシート	定期テスト
オリエンテーション 「授業について」 好きな作品を見つけよう	造形的なよさや美しさ，対象のイメージなどを主体的に感じ取ろうとしている。			造形的なよさや美しさ，対象のイメージなどを感じ取り，自分の思いや考えをもって味わっている。	関 鑑	○		○ ◎		○ ○
オリジナルキャラクターを作ろう キャラクターの持つ目的や役割について考える。性格や特徴をもとに、自分を表すキャラクターを考える。 主な学習活動の流れ ○マッピングを使い発想を広げる。。 ○主題を基に，形や色彩，構成や材料の効果を生かし，単純化や強調などを考えながら表現の構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かし，表現方法を工夫して表す。 ○友だちや自分の作品を鑑賞し，主題をどう表したか作者の意図や工夫について話し合う。	自分を表すことに関心をもち，主体的に創造的な工夫をして表したり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとして いる。	マッピングを使い主題を生み出し，単純化や強調， 構成の仕方など考え，創造的な構成を工夫し，表現の構想を練っている。	の具や板材，粘土などの材料や用具の特性を生かし，表現意図に合う新 たな表現方法を工夫するなどして，形成や着彩の順序などを総合的に考えながら，創造的に表現している。	造形的なよさや美しさ，表したいイメージを基にした主題と創造的な表現 の工夫などを感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
世界の名画の魅力に迫る 形や色彩，構図や人物の描き方などから，作者の心情や意図と創造 的な表現の工夫を感じ取り，歴史に残る名画について理解や見方を 深める。 主な学習活動の流れ ○描かれている事物や人，構図や色づかいなど，事実として共通に認識できるものについて意見を出し合う。 ○描かれた人物の表情やしぐさ，構図，図法の応用の仕方などから，作者の心情や意図と表現の工夫について意見を交換する。 ○友だちの意見や教師の解説，自分の気付きなどを踏まえ，感じ取ったことや考えたことをまとめる。	受けつがれてきた文化遺産や美術作品に関心をもち，主体的に美術文化へ の理解を深めようとしている。			お互いの作品を鑑賞し，意図や工夫した点を話し合う。	関 技 鑑	○		○ ◎	○ ○	○ ○
豊かなイメージで伝えよう 伝えたい内容がイメージ豊かに伝わるように，構図や配色を考え材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○ポスターやイラストレーション，ブックカバーなどを鑑賞し， メッセージやイメージを伝えるための工夫について考える。 ○意図が効果的に伝わるような構図やキャッチコピーなど，色彩や表現方法を考え，作品の構想をアイデアスケッチにまとめる。 ○アイデアスケッチにしたがって，描画材料の特性を生かし，美しく制作する。 ○作品を相互鑑賞し，よさや美しさ，相手に伝えるための表現の工夫などを感じ取り，味わう。	ポスターや本の装丁などの表現に関心をもち，主体的に創造的な工夫をして表したり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	伝えたい内容やイメージを多くの人々に伝えるために，形や色彩などの効 果を生かしてわかりやすさや美しさなどを考え，表現の構想を練っている。	描画材料などの特性を生かし，表現意図に合う新たな表現方法を工夫する などして，着彩の順序などを総合的に考えながら，創造的に表現している。	伝えることと形や色彩などとの調和のとれた洗練された美しさ，つくり手 の意図などを感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
やさしさのデザイン （企画書を書こう 「イス」） 使いやすさや安全性，使用するものの気持ちなどを考え，材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○ユニバーサルデザインの考えについて理解し，それぞれの日用品の用途や機能と形の調和について考え，気付いたことをまとめる。 ○だれもが使いやすいという視点に立って日用品のデザインを考えアイデアスケッチと説明文で構想を練る。 ○つくりたいイスに合った材料や用具を使い，手順などを考え見通しをもって制作する。 ○作品を相互鑑賞し，作者の意図などを感じ取り，味わう。 ○だれもが豊かな生活を送るために大切なユニバーサルデザインについて考えをまとめる。	使いやすさや安全性を考えたもののデザインに関心をもち，主体的に創造 的な工夫をして表したり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	使用する者の気持ちや機能，使いやすさ，安全性，造形的な美しさなどを 形や色彩などの効果を生かして総合的に考え，表現の構想を練っている。	材料の特性を生かし，表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして， 形成や着彩の順序などを総合的に考えながら，創造的に表現している。	形や色彩と機能との調和のとれた洗練された美しさ，つくり手の意図など を感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
イメージを形で表現しよう 篆刻 （落款を作る） 篆刻制作に関心をもち，使用する者の気持ちや印としての機能，造形的な美しさに関心を持って表現の構想を練り，工夫し創造的に表現するとともに，篆刻のよさや美しさを感じ取り，自分の価値意識をもって味わう （鉈を彫刻する） 自然物や心のイメージなどから主題を生み出し，形を単純化，強調するなどして構想を練り，材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に抽象彫刻で表現する。 主な学習活動の流れ ○立体による塊や動きの表現に関心をもち，イメージを追求するための様々な形の工夫を知る。 ○具体物や心の中のイメージなどから主題を生み出す。 ○主題を基に，塊から感じる存在感や，形から感じる動きなどを生かして表したい形を考え構想を練る。 ○いろいろな方向から見て，立体としての塊や量感，動きを感じながら材料や用具の特性を生かし，自分の表現意図に合う方法を工夫して制作する。 ○友だちの作品を鑑賞し，その思いや意図，表現の工夫などを感じ取り，その思いについて話し合う。	表現 篆刻制作に関心を持ち，印としての機能や持ち易さを考えながら，手ざわりや持ち易さ,自分のテーマをイメージし，主体的に構想を練ったり工夫して表現しようとしたりしている。 鑑賞 篆刻のよさや美しさを感じ取り,印としての機能や持ち易さに関心を持ち,作り手の意図や願いなどを主体的に感じ取ろうとしている。 抽象的な立体表現に関心をもち，主体的に創造的な工夫をして表したり，表 現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	使用する者の気持ちや印としての機能を基に,形や材質感を生かして造形的な美しさを総合的に表現するための構想を練っている。 自然物や心のイメージを基に主題を生み出し，単純化や強調，構成の仕方 などを考え，創造的な構成を工夫し，表現の構想を練っている。	石の材質や道具の特性を生かし，使うイメージを持ちながら構想に合う工夫をしたり，制作の順序の見通しをもったりしながら，創造的に表現している。 石や粘土などの材料や用具の特性を生かし，表現意図に合う新たな表現方 法を工夫するなどして創造的に表現している。	感性や想像力を働かせて，作者の心情や創造的な表現の工夫，印としての機能と形の美しさなどを,自分の価値意識を持って感じ取り味わっている。 造形的なよさや美しさ，表したいイメージを基にした主題と創造的な表現 の工夫などを感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○
【学習のポイント】 ・目的や条件を基に自分でテーマを考える。 ・用具の使い方の習得など,表現するために必要な基礎的な力を身につける。 ・自分の感じ方で形を捉え，色を試しながら工夫してあらわす。										

横須賀市立公郷中学校　保健体育科　第２学年　２０２０年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿				評価場面や資料			
体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	保健体育科では、生徒一人一人の力を伸ばし、活かしていくことを目指して学習を進められるように考えている。また、生徒の個性を活かし、生涯にわたって 運動に親しみ、運動に積極的に取り組んでいって欲しいと考えている。そのため、単に運動技能に優れていることがよいということばかりでなく、学習に取り組む姿勢や運動・健康について考えていくことなども大切な要素としてとらえている。				観察	学習カード	ノート プリント	定期テスト
題材名 学習のねらい	各観点の学習目標							
	関心(25%)	思考・判断(25%)	運動の技能(25%)	知識・理解(25%)				
「体つくり運動」 体を動かす楽しさや心地よさを味わい，体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などを理解するとともに，目的に適した運動を身に付け，組み合わせることができるようにする。	体つくり運動に積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる		体を動かす楽しさや心地よさを味わい，体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などを理解し，目的に適した運動を身に付け，組み合わせることができる。	関◎ 思○	思◎ 知○		思○ 知◎
「陸上競技」　ハードル走 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方などを理解し，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。	ハードル走に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができる。 ハードル走では，リズミカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。	陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「器械運動」　鉄棒運動　跳び箱運動 技ができる楽しさや喜びを味わい，器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，技がよりよくできるようにする。	鉄棒運動、跳び箱運動に積極的に取り組むとともに，よい演技を認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	技などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	技ができる楽しさや喜びを味わい，技をよりよく行うことができる。 鉄棒運動では，支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。 跳び箱運動では，切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと，条件を変えた技や発展技を行うことができる。	器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎

「水泳」 「水泳の事故防止に関する心得」 体の調子を確かめてから泳ぐ，　プールなど水泳場での注意事項を守って泳ぐなどの健康・安全の心得を理解できるようにする。	水泳の事故防止に関する心得など健康・安全についての学習に自主的に取り組もうとしている。			水泳の事故防止に関する心得など健康・安全について理解している。				知◎
「球技」　ソフトボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	ソフトボールに積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「陸上競技」　走り高跳び　リレー 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方などを理解し，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。	走り高跳び・リレーに積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができる。 走り高跳びでは，リズミカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 リレーでは，滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。	陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　バスケットボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	バスケットボールに積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。 ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　バレーボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	バレーボールに積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎

「武道」 技ができる楽しさや喜びを味わい，武道の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。	武道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方 を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違 いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，禁じ技を用いないな ど健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	技ができる楽しさや喜びを味わい，基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。 武道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をする。	武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「体育理論」運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 体育分野における運動の実践や保健分野との関連を図りつつ，豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。 (ｱ) 運動やスポーツは，身体の発達やその機能の維持，体力の向上などの効果や自信の獲得，ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり，適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。 (ｲ) 運動やスポーツには，特有の技術があり，その学び方には，運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があること。 (ｳ) 運動やスポーツを行う際は，その特性や目的，発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど，健康・安全に留意する必要があること。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方などについて関心をもち，学習に積極的に取り組もうとする。	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方などについて，学習した知識を活用したり応用したりしている。		運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方などについて理解していている。	関◎ 思○		思◎ 知○	思○ 知◎
「保健」　健康と環境　障害の防止 生活習慣病などの予防 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 健康と環境について理解できるようにする。 ア　身体には，環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は，健康に影響を及ぼすことがあること。また，快適で能率のよい生活を送るための温度，湿度や明るさには一定の範囲があること。 イ　飲料水や空気は，健康と密接なかかわりがあること。また，飲料水や空気を衛生的に保つには，基準に適合するよう管理する必要があること。 ウ　人間の生活によって生じた廃棄物は，環境の保全に十分配慮し，環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があること。 傷害の防止について理解を深めることができるようにする。 ア　交通事故や自然災害などによる傷害は，人的要因や環境要因などがかかわって発生すること。 イ　交通事故などによる傷害の多くは，安全な行動，環境の改善によって防止できること。 ウ　自然災害による傷害は，災害発生時だけでなく，二次災害によっても生じること。また，自然災害による傷害の多くは，災害に備えておくこと，安	健康と環境について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 傷害の防止について関心をもち，　学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 健康な生活と疾病の予防について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康と環境について，課題の解決を目指して，知識を活用した学習活動などにより，科学的に考え，判断し，それらを表している。 傷害の防止について，課題の解決を目指して，知識を活用した学習活動などにより，科学的に考え，判断し，それらを表している。 健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法などを考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。		身体の環境に対する適応能力や至適範囲，飲料水や空気の衛生的管理，生活に伴う廃棄物の衛生的管理について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止，応急手当について，課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。 生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを理解している。	関◎ 思○		思◎ 知○	思○ 知◎

全に避難することによって防止できること。 エ　応急手当を適切に行うことによって，傷害の悪化を防止することができること。また，応急手当には，心肺蘇生等があること。 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア　生活習慣病などは、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こること。また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できること。 イ　喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因になること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。				喫煙、飲酒については、様々な疾病を起こしやすくなることを理解している。薬物乱用については、様々な障害が起きることを理解している。また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、投げやりな気持ち、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があることを理解している。				

横須賀市立公郷中学校　　家庭科　第2学年　2020年度　年間指導計画

担 当 ：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的、基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。	○　自分の生活をチェックして、自分なりの課題をみつけ、解決のための学習意欲をもつ。 ○　自分の生活を豊かにするための知識や技能を積極的に身に付けようとする姿。 ○　生活の中で関わる家族・仲間・地域の方々への思いやりを忘れない姿。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	ワークシート	作品	定期テスト
4	栄養素の種類と働き 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴を理解する。水の働きについて理解する。	中学生に必要な栄養の特徴について関心を持ち、自分の食事と関連させて考えようとしている。	中学生の食生活と栄養について課題を見付けて、その解決を目指して工夫している。	栄養素の種類と働きと、中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	栄養素の種類と働きと、中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技		○		
						知				○
8	日常食の献立と食品の選び方 食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解する。中学生の1日の献立を考えることができる。	中学生の1日分の食事の摂り方に関心を持ち、必要な栄養量を満たす食事の摂り方をしようとしている。	中学生の1日分の献立について課題を見つけて、必要な栄養量を満たすために料理や食品の組み合わせについて考え、工夫している。	中学生の1日分の食事の摂り方を基に、自分で献立を立てることができる。	中学生に必要な栄養量を満たす1日分の献立の立て方について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技			○	
						知			○	○
15	日常食の調理 基礎的な日常食の調理ができ、安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができる。	日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。食品や調理器具等の安全や衛生に配慮し、調理実習で実践している。	基礎的な日常食の調理について、調理に必要な手順や時間を考えて計画したり、食品の調理上の性質を生かした調理を工夫したりしている。	調理の目的や食材に合った基本的な調理操作ができる。安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理ができる。	食品の調理上の性質について理解している。食品や調理器具の安全と衛生に留意した取り扱い方について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技	○		○	
						知				○
3	住居の機能と住まい方 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境の整え方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	住居の機能について理解し、安全で快適な室内の整え方と住まい方を考えることができる。	住居の機能について理解し、安全で快適な室内の整え方と住まい方を考えることができる。	関	○	○		
						工		○		
						技				
						知		○		○
8	布を使って豊かな生活を 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。また、製作に関する基礎的・基本的な技能を身につける。	布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。	衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫をしている。	安全で効率よく、布を用いた物の製作をすることができ、目的に応じた縫い方ができる。	布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。	関	○	○		
						工		○		
						技	○		○	
						知			○	○
2	幼児の成長 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。	幼いころを振り返り、自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。	幼児の生活と家族について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫している。		幼児の身体の発育や運動機能の発達、言葉および情緒、社会性の発達の特徴について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技		○		
						知				○

【学習のポイント】

- 1週間に1時間という少ない授業です。毎授業を大切に取り組みましょう。
- 家庭学習もしっかりと取り組み、内容の理解度や興味関心を高めましょう。
- 学習を自分の生活で活かし、自ら進んで豊かな生活を目指す“心”を磨きましょう。

横須賀市公郷中学校　技術科　　第2学年　2020年度　年間指導計画

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿	評価の場面や資料
ものづくりなどの実践的・体験的な活動を通して、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し、活用する能力と態度を育てる。	〇自ら学ぶ姿勢 　勉強をさせられてするのではなく、自分から学ぼうとする姿勢 〇ものを大切にする心 　ものづくりを通してものを大切にする心を持ってほしい。ものを大切にすることは人を大切にすることにつながります	観点 授業の観察 作品 ワークシート 定期テスト

時間	題材名 学習のねらい	観点別の学習目標 生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	観点	授業の観察	作品	ワークシート	定期テスト
3	**生物育成について**					関工技知	〇			
13	**植物の育成**	・生物育成に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。	・目的や条件に応じて栽培又は飼育の計画を立てるとともに、育成する生物の観察を通して成長の変化を捉え、適切に対応を工夫している。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。	関工技知	〇	〇	〇 〇	
8	**エネルギーの利用**	・熱，光，風などのエネルギーの変換に関心をもち，その特徴を調べようとしている。	・精度の高い加工を心がけている。 ・製作品の動作に異常が生じた際にその原因を追究し，製作品の検討及び修正をしている。	・電気回路部分を回路計によって点検ができる。	・製作に使用する機器の保守と事故防止に関する知識を身に付けている。	関工技知	〇	〇	〇 ◎ 〇	〇
12	**電気の安全な利用と電子機器の製作**	製作に使用する機器の仕組みに関心をもち，目的や条件に応じて，機器を適切に活用しようとしている。	製作する際に，機器の使い方を工夫している。	機器の保守と事故防止ができる。	・基本的な工具の仕組みと効果的な使用方法の関係について理解している。 ・製作品に適した加工行程と加工技術に関する知識を身に付けている。	関工技知	〇 〇 〇	〇 ◎	〇	◎

【学習のポイント】

・技術室での実習は、決められた服装で行なうこと。　安全第一で作業をしましょう。

・技術の授業は1週間に1回しかありません。これから生きていく上で知っておいてほしい知識を学びます。1回1回の授業を大切にしましょう。

横須賀市立公郷中学校　英語科　第2学年　2020年度　年間指導計画　　担 当 ：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
①話し手の意向を理解し、自分の考えを伝えることができる。 ②身の回りのことや興味・関心のある内容について、事実を自分の思いを交えながら表現することができる。	①第1学年の学習を基礎として、英語の使用場面や表現活動をさらに広げる努力をする。 ②英語を理解し、英語で表現する能力を伸ばすために、積極的に活動に参加する。 ③円滑なコミュニケーションを図るためにも、知識や英語の運用能力だけでなく、他国と日本の文化の違いを理解し、受け容れ、それぞれを尊重する心をもつ。(校訓:受け容れよう・話し合おう・傷つけない・自分づくり)

題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力 話す	外国語表現の能力 書く	外国語理解の能力 聞く	外国語理解の能力 読む	言語や文化についての知識理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	自己表現活動	ワークシートやノート	単語・リスニングテスト	定期テスト
Unit 0, Unit 1 1年生の復習。 過去について述べることができる。 人やものの外見について述べることができる。 人について、以前との違いを説明することができる。	英文から情報を読み取ろうとしている。 自分がしていたことを具体的に相手に伝えようとしている。	過去のある時にしていたことを説明することができる。	過去のある時にしていたことを英文で書くことができる。	英語を聞いて，概要を聞き取ることができる。	英文を読んで、内容を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・過去形 ・can ・疑問詞 ・過去進行形 ・look＋形容詞	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Daily Scene 1, Unit 2, Daily Scene 2 4文以上の英語で日記を書くことができる。 自分の予定について述べることができる。 人に何かを…すると述べることができる。 人を何と呼ぶかを述べることができる。 予定についてたずねたり伝えたりすることができる。 許可を求めたり、依頼したりすることができる。	英語で具体的に日記を書こうとしている。 予定について、たずねたり伝えようとしている。 適切な依頼表現を使おうとしている。	予定をたずねたり伝えたりすることができる。 質問に答えることができる。(やりとり)	予定をたずねたり伝えたりする英文を書くことができる。 予定を英文で書くことができる。	英語を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。	英文を読んで、内容を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・be going to ・SVOO ・SVOC ・May I …? ・Could you …?	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Unit 3 何かをする目的を述べることができる。 夢や希望などについて述べることができる。 情報を付け足して説明することができる。 行きたい場所やしたいことなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。	関心を持ち、積極的に対話をしたり質問したりしている。	何かをする目的を述べることができる。 将来つきたい職業について述べることができる。(やりとり)	何かをする目的を英文で書くことができる。 将来つきたい職業について英文で書くことができる。	英語を聞いて，概要を聞き取ることができる。	英文を読んで、内容を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・不定詞	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Daily Scene 3, Presentation 1, Let's Read 1 4文以上の英語でメールを書くことができる。 将来の夢について、4文以上で発表することができる。	気持ちが伝わるようにメールを書いている。 わかりやすいように発表したり，発表を聞いて積極的に質問したり意見を述べたりしている。	将来の夢について4文以上で発表することができる。	4 文以上の英語でメールを書くことができる。 将来の夢について 4 文以上の英語で書くことができる。	将来の夢についての発表を聞いて，内容を聞き取ることができる。	英文を読んで、内容を理解することができる。 物語を読んで，場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。	既習事項の総復習。	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Unit 4 人にアドバイスをすることができる。 自分の意志を述べたり、これからのことを予測したりすることができる。 決まりごとについてたずねたり伝えたりすることができる。	コミュニケーションの取り方について理解しようとしている。 しようと思っていることを伝えようとしている。	する必要があることについて述べることができる。 自分の意志を相手に伝えることができる。(やりとり)	する必要があることについて英文で書くことができる。	天気予報を聞いて，情報の要点を聞き取ることができる。	ガイドブックを読んで，アドバイスの内容を理解することができる。 英文を読んで、内容を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・(do not) have to ・助動詞 will ・助動詞 must (not)	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎

Daily Scene 4, Unit 5 電話での応答で、「…さんをお願いします」と取り次ぎを頼むことができる。 ある条件で何をするかを述べることができる。 自分の考えとその理由を述べることができる。 いつ何をしたかを述べることができる。	電話の場面での会話に積極的に取り組んでいる。 内容を読み取ろうとしている。 自分の考えを伝えようとしている。	電話での応答で，「…さんをお願いします」と取り次ぎをたのむことができる。（やりとり） 自分の考えを伝えることができる。（やりとり）	ある条件で何をするかを英文で書くことができる。 自分の考えを英文で書くことができる。	電話の会話で，用件を理解することができる。 英語を聞いて，概要や要点を聞き取ることができる。	英文を読んで、何が説明されているかを理解することができる。 スピーチを読んで，話者の主張とその理由や、話者の感想を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・May I speak to …, please? ・接続詞 if ・接続詞 that ・接続詞 when ・接続詞 because	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Daily Scene 5, Unit 6 乗り物での行き方をたずねたり、教えたりすることができる。 何があるかを述べることができる。 趣味や特技について述べることができる。 何があるかをたずねたり、伝えたりすることができる。	道案内の場面での会話に積極的に取り組んでいる。 落語について関心を持ち，その特徴を理解しようとしたり、情報を読み取ろうとしたりしている。	乗り物での行き方をたずねたり教えたりすることができる。（やりとり） 自宅の近くの施設について、たずねたり伝えたりすることができる。（やりとり）	部屋にあるものについて英文で書くことができる。 自宅の近くの施設について、たずねたり伝えたりすることを英文で書くことができる。	英語を聞いて，概要や要点を聞き取ることができる。	英文を読んで、内容を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・Which … goes to ～? ― Take …. ・There is [are] …. ・Is [Are] there …? と応答 ・動名詞	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Daily Scene 6, Presentation 2, Let's Read 2 決められたルールの中で、英語で詩を書くことができる。 自分の住んでいる町について4文以上で発表することができる。	気持ちを伝えようとして詩を書いている。 わかりやすいように発表したり，発表を聞いて積極的に質問したり意見を述べたりしている。	自分の町について4文以上で発表することができる。	決められたルールに従って英語で詩を書くことができる。 自分の町について 4 文以上の英語で書くことができる。	発表を聞いて，町の様子について理解することができる。	詩を読んで，内容を理解することができる。 物語を読んで，場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。	既習事項の総復習。	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Unit 7, Daily Scene 7 人やものについて、比べて説明することができる。 あるテーマについて、資料などを用いて比較しながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。	映画のあらすじを読み取ろうとしている。 買い物の場面での会話に取り組もうとしている。	何かと比べながら説明することができる。 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。（やりとり）	何かと比べながら英文で書くことができる。	英語を聞いて，内容を理解することができる。	英文を読んで，内容を理解することができる。	次の文構造をのしくみを理解し正しく使うことができる。 ・比較表現(比較級) ・比較表現(最上級) ・比較表現(as … as ～) ・Shall I …?	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎
Presentation 3, Let's Read 3 自分の好きなこと・ものについて4文以上で発表することができる。	わかりやすいように発表したり，発表を聞いて積極的に質問したり意見を述べたりしている。	自分の好きなこと・ものについて4文以上で発表することができる。	自分の好きなこと・ものについて 4 文以上の英語で書くことができる。	発表を聞いて，概要を聞き取ることができる。	英文を読んで，紹介されているものの特徴や利点について理解し，筆者の主張などを読み取ることができる。	既習事項の総復習。	関表 理言	○	○ ◎	○	○ ◎	◎ ◎ ◎

【学習のポイント】 ①授業を大切にする。集中力・授業準備・活動への参加態度を一生懸命高める。 ②教科書やプリントなどにある英文を何度も書いたり読んだりして、理解力を高める。
③手元にある英文を参考にして、自分の考えを書く・音読する練習を十分に行う。 ④授業で学んだことを家庭でもよく復習する。 ⑤辞書を活用する。